

みなとみらい21 新港地区客船ターミナル（仮称）整備の 事業予定者が決定しました！

みなとみらい21新港地区では、C I Q（税関・出入国審査・検疫）施設とサービス・商業施設からなる「新港地区客船ターミナル（仮称）」の整備を行います。

整備に当たっては、民間の資金やノウハウを積極的に活用するため、公民連携事業による事業提案方式で公募を実施してきました。この度、「（仮称）Yokohama Pier 9」からの提案を選考し、事業予定者に決定しました。

事業の仕組み

横浜市と事業予定者の間で定期借地契約を締結します。事業予定者が客船ターミナル施設全体を整備し、市が事業予定者からC I Q施設部分の床を賃借した上で、管理運営を行います。

事業予定者

企業グループ名：（仮称）Yokohama Pier 9

代表企業：株式会社 横浜岡田屋

構成企業：株式会社 小此木

藤木企業 株式会社

川本工業 株式会社

株式会社 T・Yホールディングス

株式会社 横浜グランドインターコンチネンタルホテル

野村不動産 株式会社

京浜港ワッチマン業協同組合

代表取締役 岡田 伸浩

代表取締役 小此木 歌藏

代表取締役 藤木 幸太

代表取締役 川本 守彦

代表取締役 堤 猶二

代表取締役 梅村 東

代表取締役 宮嶋 誠一

代表理事 新倉 康司

事業概要

マチと陸・海・空をつなぐ、横浜らしい港の賑わいのハブとなるよう『ヨコハマ ウミエキ』を開発コンセプトとし、客船ターミナルには大型客船の受入れに対応したC I Q施設、食をテーマとした商業施設、岸壁に近接しクルーズの前泊や後泊にも対応した高品質なホテル等を開発する計画です。

開発に当たっては、横浜の地元企業が中心となってコンソーシアムを組織し、施設整備・運営を行うこととなっており、みなとみらい21地区全体の一層の活性化が期待されます。

【イメージパース】 ※今後の検討によって変更される可能性があります。



【裏面あり】

施設概要

- (1) 所 在 横浜市中区新港2丁目14番1
 (2) 敷地面積 約17,400㎡
 (3) 延床面積 約28,600㎡
 (4) 階 数 地上5階
 (5) 主要施設 C I Q施設： 1階 (約4,200㎡)
 商業施設：1～2階 (約4,800㎡)
 ホ テ ル：3～5階 (約9,400㎡)
 (6) 供用時期 平成31年春頃 (予定)



【案内図】

お問い合わせ先

港湾局客船事業推進課担当課長 蝦名 隆元 Tel 045-671-3870